

第2学年 日本語学級「かんさつ名人になろう」(オンライン授業)

トピックのねらい	○観察するポイント(大きさ・形・色・数・長さ・におい等)に気を付けて観察し、メモすることができる。 ○自分で決めたものを観察、記録し、友達と伝え合うことができる。
日本語の目標	○「—は—です」や、「じっくり見ると」など、基本的な書き方や書き出しの表現の仕方を理解し、活用することができる。
関連	教科・単元 国語科「かんさつ名人になろう」A 生活科「やさいを育てよう」B
	くらし・行事 ペット・観葉植物C
主な学習活動	① 観察するものを決めて、観察ポイントに気を付けてメモをとる。 ② かんさつしたことを記録する文章を書き、交流する。

教材・教具：国語の教科書、ノート

授業展開

時間	学習活動	指導のポイント 支援「○日本語 ◇教科 *バイカルチュラル視点」	関連
1	1 国語「かんさつ名人になろう」の先行学習であることを知り、指導者が観察しようとしているものの写真を見て、何かを当てる。	*学校に興味深い果物等があることを知らせ、(バナナ・ポメロ・カシューナッツ)、その後どうなるか想像させる。また、指導者が代表してバナナを観察することを伝える。	A
	かんさつのしかたを しろう。		
	2 観察のポイントを知り、指導者が提示したオクラの観察を始める。	◇観察するポイント(色・形・数・長さ・におい等)を確認し、文にまとめる。 ○「—は—です」のモデル文を提示し、安心して書けるようにする。	A B
	3 正しく書けたか、確認する。(グループ→全体)	○一人一人が書いたものを確認し、その後発表練習することで、全体発表でより自信をもって発表できるようにする。	A B
4 学習を振り返る。	○間違いやすい部分を全体で確認する。また、書けたことや発表できたことを称賛し、次の国語の時間の発表意欲に繋げる。	A B	

【学校で見つけた果物やナッツ】

【かんさつのポイントとモデル文(一例)の提示】



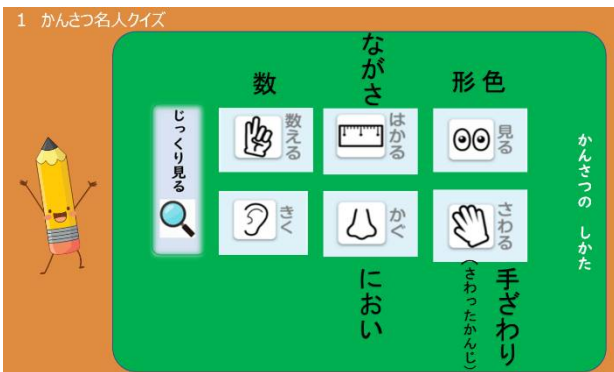
かんさつのポイント

いろは	かたちは
かずは	においは
ながさは	大きさは

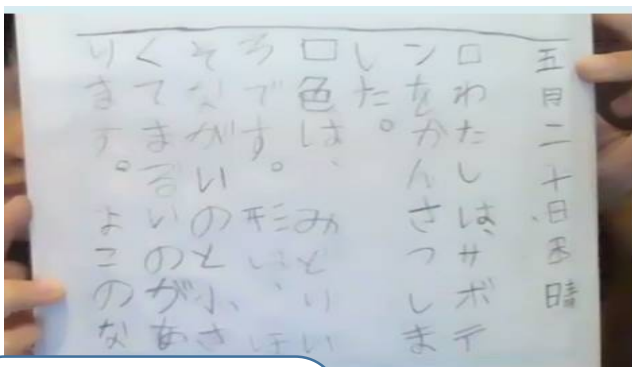
いろは、()です。
はっぱのかたちは、()です。
はっぱのかずは、()です。

1 学習のめあてや流れを知る。	◇次の国語の時間に、観察文の発表があることを伝え、学習の意欲を高める。	A
じしんをもって はっぴょうできるようにしよう。		
2 かんさつのポイントクイズを行う。	◇観察する際のポイント（色・形・数・長さ・におい等）をクイズ形式で楽しく想起させる。今後も観察の際に大切にしたいポイントであることを確認する。	A B C
2 3 自分が書いた観察文を見直し、よりスムーズに読めるように練習する。（グループ→全体）	◇早く終わった児童は、「じっくり見ると」を付け加えることで、よりくわしく観察させる、 ○一人一人の観察文を確認し、グループ内で発表練習を行う。その後、全体の中で発表させることで、より緊張感をもたせながら言えた喜びを感じさせ、自信をもたせたい。	A B C
4 学習を振り返る。	○観察したものを上手に発表できたことを称賛し、次の国語の授業の意欲を高める。	A B C

【かんさつポイントを確認】



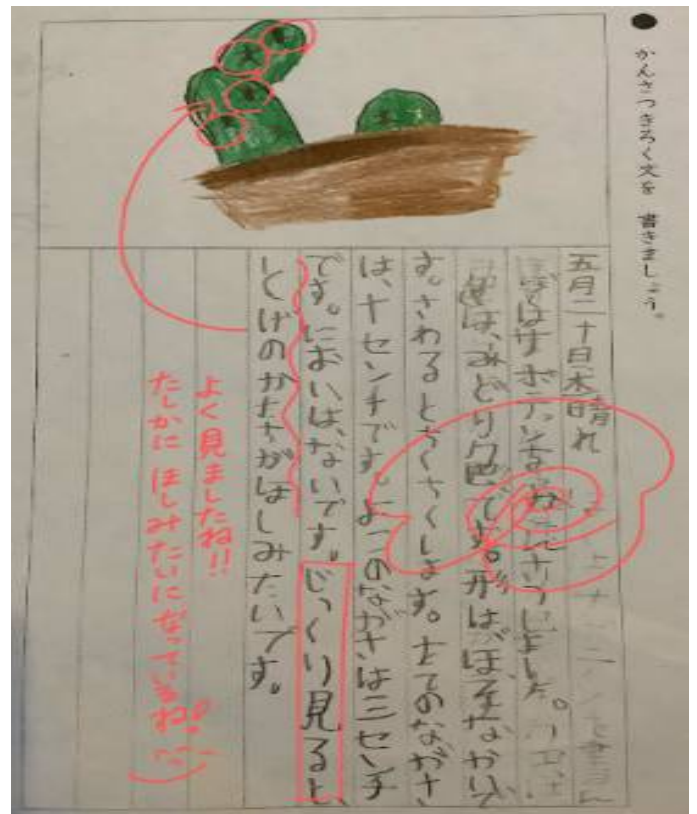
【「サボテン」のかんさつ文を書いたYさん】



じは、サボテンは、みどりいろです。ちくちくしています。

サボテン、小さくてまーセンチ、形は、ほ

【「じっくり見ると」を付け加えて書いたKさん】



五月二十日、晴れ。サボテンは、みどりいろです。ちくちくしています。じっくり見ると、サボテンは、みどりいろです。ちくちくしています。じっくり見ると、サボテンは、みどりいろです。ちくちくしています。

令和3年度 第2学年 日本語学級「かんさつ名人になろう」ふりかえり

児童 の 様子	≪日本語学級での様子≫ 【1時間目】 ○学校にある興味深い植物のことを知り、児童も「ぼくはポトスを調べよう。」「サボテンにしよう。」と意欲を高めていた。 ○観察ポイントやモデル文を活用して、ノートにまとめることができた。(色・形・数) ○グループ活動の中で、葉の枚数を「4本」「4匹」等という子もいたが、「ここは4枚だよ」と友達同士で確かめ合い、学び合うことができた。 【2時間目】 ○ほとんどの子どもたちがほぼ書けていた。 ▲「におい」を「によい」と書いていたり、字の間違い等があったりした。読みのレベルについても、拾い読みの子、ひっかかりながらも何とか読める子、すらすら読める子とさまざまである。	
	≪在籍学級での様子≫ ○ほとんどの児童が観察ポイントに合わせて文を書くことができた。 ○Yさんは、通常学級での振り返りフォームに◎(よくがんばった)をつけ、「みんなの前で発表できたから。」と書いていた。発表の際は、笑顔を見せていた。 ▲どのページに書いたのかなかなか探せずに、発表できない日本語学級の児童もいた。(個別の声掛けが必要)	
学習活動 案 日本語支援 について	1 時間目	○オクラの写真を使って観察の仕方を確認したことで、書き方が具体的に分かったようであった。 成果 ○モデル文があったことで、書き出しがスムーズであった。色や形もいくつか表現が出てきたので、友達同士で学び合う場をつくることができた。 ○小グループで活動したことで、児童の発言の回数が増えた。また、そのことが日本語学級の全体の場での発表意欲の高まりへと繋がっていた。
	2 時間目	課題 △オクラの写真の中に長さが分かるものが入っていなかったため、大きさや長さが分からなかった。 →えんぴつと一緒に移したオクラの写真があったので、在籍学級では、その写真をもとに大きさや長さを再度考えさせる。 成果 ○一人一人書いた内容を確認し、読み方の練習を行ったことで自信をつけ、在籍学級で積極的に発表する姿へと繋がった。 課題 △読みの差への手立てをどうすればよいか課題として残る。 →家庭との相談や個別指導を考える必要がある。